シリコーンゴム HTV (高温加硫型)

シリコーンゴム HTV (高温加硫型)とは、ゴム・熱可塑性エラストマーに分類される樹脂の材料です。優れた耐熱性・耐寒性。

HTV Silicone ・ High Temperature Vulcanizing

最終更新：2026/10/30

1.15 g/cm³
比重（密度）

10 MPa
引張強さ

200 °C
最高使用温度

TPU・TPU・TPE-Sとの違い

材料名を押すと、その材料のページに移動します。

	シリコーンゴム HTV (高温加硫型) このページ	TPU (熱可塑性ポリウレタン)	TPU (熱可塑性ポリウレタン エーテル系)	TPE-S (SEBS系熱可塑
引張強さ	10 MPa	50 MPa	45 MPa	15 MPa
硬さ	20-80 Shore A	—	70-95 Shore A	30-90 Shore A
線膨張係数	—	150 µm/m·K	—	—
最高使用温度	200 °C	—	80 °C	100 °C
密度	1.15 g/cm³	1.2 g/cm³	1.12 g/cm³	0.91 g/cm³

「—」は材料データベースに値が載っていない項目です。

特徴と用途

材料としての特徴

- 優れた耐熱性・耐寒性
- 生理的に不活性（医療・食品用）
- 電気絶縁性に優れる
- 耐候性・耐オゾン性

主な用途

- 医療用チューブ・ガスケット

- 食品用パッキン
- 電気絶縁部品
- 自動車エンジン周辺シール

選び方

広い温度範囲で使用するゴム部品に。医療・食品向けに最適。

メリット

- 耐熱-60〜200°C
- FDA対応
- 生体適合
- 耐候性

デメリット

- 引裂強さ低い
- 耐油性に劣る

一般的な特性に基づく参考情報です。実際の性能は製造条件・使用環境により異なる場合があります。

物性値

公的規格・技術資料をもとにした参考値です。

熱的性質

項目	値	条件
最高使用温度	200 °C	—
最低使用温度	-60 °C	—

物理的性質

密度	1.15 g/cm³

加工・規制・注意

規制適合

RoHS	適合
REACH	適合
fda	適合

出典・ご利用上の注意

- 2025-12-07

作成者：ものづくりのためのお役立ち情報編集チーム（株式会社メイカーズ）
監修：株式会社メイカーズ　商品開発戦略グループ
作成日：2026/10/30
最終更新：2026/10/30

本ページの物性値・特性情報は、JIS・ISO・ASTM等の公的規格およびメーカー技術資料を参照した参考情報です。実際の材料選定・使用にあたっては、必ず材料メーカーの公式データシートをご確認の上、専門家にご相談ください。 本データベースは、設計・開発段階での材料比較・選定にお役立ていただけるよう、幅広い材料の物性情報を掲載しています。図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お気軽に お問い合わせ ください。

※ 本ページに記載の商標は各社の登録商標または商標です。Inconel®, Monel®は Special Metals Corporation、Hastelloy®は Haynes International, Inc.、Vespel®, Kapton®, Kalrez®, Kevlar®は DuPont、Delrin®は TJC、Teflon™, Viton™は The Chemours Company、ジュラコン®は ポリプラスチックス株式会社、MCナイロン®は 三菱ケミカルアドバンスドマテリアルズ株式会社の商標です。

図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お問い合わせください。

よくある質問

シリコーンゴム HTV (高温加硫型)の密度（比重）は？

シリコーンゴム HTV (高温加硫型)の密度（比重）は1.15 g/cm³です。

シリコーンゴム HTV (高温加硫型)の引張強さは？

シリコーンゴム HTV (高温加硫型)の引張強さは10 MPaです。

シリコーンゴム HTV (高温加硫型)の最高使用温度は？

シリコーンゴム HTV (高温加硫型)の最高使用温度は200 °Cです。

シリコーンゴム HTV (高温加硫型)の硬さは？

シリコーンゴム HTV (高温加硫型)の硬さは20-80 Shore Aです。

シリコーンゴム HTV (高温加硫型)の主な用途は？

シリコーンゴム HTV (高温加硫型)は、医療用チューブ・ガスケット、食品用パッキン、電気絶縁部品などに使われます。